

令和3年度 当初予算案のポイント(一般会計の概要)

- 厳しい経済状況に対応するため、**過去最大規模の商工金融資金の融資枠を確保**するとともに、公共事業について、**2年度2月補正と3年度当初の合計で近年最大規模の公共事業費を確保**するなど**地域経済を下支え**。
- 厳しい経済状況の影響等による個人市民税や法人市民税の減収等に伴い、**市税収入は2年度当初を大幅に下回る**。
市税収入の減等に伴い地方交付税等は増加するが、内訳として**臨時財政対策債が大幅に増加**。
- 3年度は、徹底した事業の選択と集中や歳入の確保等に取り組みつつ、国の補正予算と連動し**2年度2月補正と一体的に編成**することにより、**新型コロナウイルス感染症への対応**を図りながら、**真に必要な施策・事業を積極的に推進**する予算を編成。
- 臨時財政対策債の大幅な増加により、3年度末の**一般会計の市債残高見込みは増加**するが、**全会計の市債残高見込みは着実に減少**。

● **一般会計の予算規模は過去最大**

(令和2年度当初予算)

1兆545億円 (18.8 %) (8,875億円)

(参考)2年度2月補正と3年度当初を合わせた予算規模は1兆965億円

● **歳入**○ **市税は個人市民税・法人市民税の減等により大幅に減少**

3,166億円 (▲6.8 %) (3,397億円)

○ **実質的な地方交付税は市税の減等に伴い大幅に増加**

750億円 (27.1 %) (590億円)

(内訳)			
・地方交付税	315億円	(	310億円)
・臨時財政対策債	435億円	(	280億円)

○ **一般財源総額は財政調整基金の活用により2年度当初並みを確保**

4,681億円 (0.1 %) (4,678億円)

○ **市債発行額は臨時財政対策債の大幅増に伴い増加**

921億円 (18.9 %) (775億円)

(参考)一般会計の市債残高見込みは増加するが、全会計は着実に減少

一般会計 1兆1,908億円 (30億円) 【 1兆1,878億円 】

全会計 1兆9,991億円 (▲172億円) 【 2兆163億円 】

※ 満期一括積立金を除く

【 】内は令和2年度末見込み

● **歳出**○ **過去最大規模の商工金融資金の融資枠を確保**

預託金 2,482億円 (253.6 %) (702億円)

○ **2年度2月補正と3年度で、近年最大規模の公共事業費を確保**

一般会計 983億円 (30.7 %) 【 752億円 】

全会計 1,730億円 (28.1 %) 【 1,350億円 】

※ 一般会計・特別会計は普通建設事業費、企業会計は建設改良費

【 】内は平成23年度～令和2年度当初の平均